

# 第3回 愛南町防災休憩施設設計画検討会

## 説明資料

### 資料構成

1. 第2回検討会までの議事要旨について . . . . . P1 ~ P2
2. 基本構想（案）の取りまとめについて . . . . . P3 ~ P17
3. 今後の予定について . . . . . P18

愛南町

令和3年1月27日

# 1. 第2回検討会までの議事要旨について

## 1-1. 防災休憩施設の条件等について

### <事務局案>

#### 【基本方針】

津波浸水時の国道56号の分断距離が長い等、防災機能の強化が喫緊の課題となっている御荘地区において、防災休憩施設整備を検討する。

#### 【検討方針】

インターと防災休憩施設、松軒山公園との連携を考慮の上、ICやアクセス道路、防災休憩施設の配置を検討する。

### 検討調整

#### 【防災休憩施設の条件】

- 規模については、10,000㎡以上を目安とする。
- 高さについては、津波一時避難場所になることを想定し、現在津波一時避難場所を設定している標高1.5m以上を確保する。
- アクセス道路については、松軒山公園との連携に重点を置き、園路を活用する。
- 防災休憩施設の具体的な機能について、今後検討する。 ➡ **今回の検討事項**

# 1. 第2回検討会までの議事要旨について

## 1-2. 防災休憩施設の候補地（案）の検討について

### <事務局案>

(1) の条件の下、防災休憩施設設置可能範囲を絞り込んだ後、「周辺地域への影響を考慮し、極力高台へ設置した案（A案）」と「国道からのアクセスが近く、日常の利便性に優れる設置案（B案）」の2案を比較検討。



### <委員意見>

- ・ 防災休憩施設の候補地に関して、インターチェンジとの連絡並びに南レク松軒山公園との連携も可能なA、B両案について審議した結果、津波に対する安全性等に優れ、周辺地域への影響が少なくなる「A案」で決定。

## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### 2-1. 防災休憩施設の具体的な機能について

#### <防災休憩施設として求められる災害時の機能>

##### ①緊急避難場所（津波一時避難場所）としての機能



##### ②ヘリポートとしての機能



##### ③進出拠点・活動拠点としての機能



## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### 2-1. 防災休憩施設の具体的な機能について

#### <① 緊急避難場所（津波一時避難場所）としての機能>

防災休憩施設周辺の津波浸水区域内には、大型スーパーやレジャー施設があり、季節・時間帯によっては、多数の避難者・帰宅困難者が発生する可能性がある。（避難者想定人数 夏場約3,500人 冬場約1,000人）

さらに、人口の多い御荘平城地区には、地震・津波時に被災者が一定期間滞在することを想定した指定避難所が少ない。

⇒防災休憩施設周辺を津波一時避難場所として使用することにより、避難者の受入れや帰宅困難者への情報提供等が可能となる。さらに、御荘平城地区における指定緊急避難場所（避難所）としての活用が見込まれる。

#### 災害時の機能

- 情報提供施設（道路被災状況等の情報提供）
- 指定緊急避難場所（避難所）（弱者支援）
- 炊き出し所・救護テント設置箇所
- 停電・断水時に利用可能なトイレ
- 非常用電源、防火水槽等

#### 平常時の機能

- 情報提供施設（道路情報・観光施設等の情報提供）
- 地域交流施設（バリアフリー化）
- 多目的広場、ドッグラン等
- 24時間対応のトイレ

## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### 2-1. 防災休憩施設の具体的な機能について

#### <② ヘリポートとしての機能>

ヘリの離着陸可能場所は、南レク城辺公園の多目的グラウンドに2機、球技場に1機となっており、当該グラウンドは広域支援部隊の活動拠点にもなっていることから、活動中はヘリの離着陸に支障が出てくる可能性がある。また、沿岸部は陸路からの救助活動が困難なことが想定され、ヘリでのピックアップによる救助活動が想定される。

⇒防災休憩施設へのヘリポート新設に加え、南レク松軒山公園へのヘリの離着陸可否について、今後、公園管理者と協議を進めることによって、救助活動等の円滑化・多様化を図る。また、防災休憩施設を活動拠点として広域支援部隊と連携した救出・救助活動が図られる。なお、大型ヘリについては、(株)レクザム愛南工場（災害協力協定締結事業所）敷地内のグラウンドへの離着陸が可能である。

#### 災害時の機能

##### ■ヘリポート



(出典) 松山市消防局Facebook  
※イメージ画像



参考事例：防災用ヘリポート  
(出典) 国土交通省  
※イメージ画像

#### 平常時の機能

##### ■臨時駐車場等（GW等の混雑時に開放）



参考事例：道の駅 奥永源寺溪流の里  
(出典) 東近江市HP  
※イメージ画像

## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### 2-1. 防災休憩施設の具体的な機能について

#### <③ 進出拠点・活動拠点としての機能>

災害時の活動拠点となる南レク城辺公園及び(株)レクザム愛南工場（災害協力協定締結事業所）並びにあけぼの公園は、南海トラフ地震時の津波浸水区域が広がる愛南町中心市街地よりも東側に位置しており、宇和島側（西側）からの救援・救護・救出活動や道路啓開部隊（広域支援部隊）の進出には、アクセス面で課題が残る。

⇒新たに御荘地区に防災休憩施設ができれば、西側からの広域支援部隊の最前線基地（進出拠点）として活用できる。なお、御荘地区の防災休憩施設は、近隣の南レク松軒山公園と津波浸水範囲を通過せずに移動できることから、防災面での連携が期待でき、今後、南レク松軒山公園との災害時における機能分担について、公園管理者との協議を進める。

#### 災害時の機能

- 災害対策機能（現地対策本部、役場のバックアップオフィス、物資一時保管）
- 道路啓開・救援・救護車両の集結地点
- 復旧活動拠点
- 物資集積・配布スペース
- 近隣防災拠点と連携（災害対応関係車両以外の駐車、防災倉庫と接続）

#### 平常時の機能

- 地域交流施設（物産販売所、多目的会議室等）
- 駐車場（一般客用、従業員用）
- 多目的広場、ドッグラン等

## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### 2-1. 防災休憩施設の具体的な機能について

○ 防災休憩施設の機能について整理し、機能を発揮する上で必要と考えられる整備内容を抽出。

災害時の機能 (防災拠点)	① 緊急避難 場所と しての機能	② ヘリポート としての 機能	③ 進出拠点・ 活動拠点と しての機能	平常時の機能 (休憩施設)	整備内容
■情報提供施設 (道路被災状況等の情報提供)	◎			■情報提供施設 (道路情報、観光施設等の情報提供)	▶▶▶ 1. 多機能型 休憩施設
■災害対策機能・指定緊急避難場所 (現地対策本部、役場のバックアップオフィス、 物資一時保管、弱者支援)	◎		◎	■地域交流施設 (物産販売所・多目的会議室等・バリ アフリー化)	
■道路啓開・救援・救護車両の集結地点 ■復旧活動拠点			◎	■駐車場 (一般客用、従業員用)	▶▶▶ 2. 駐車場
■ヘリポート		◎	◎	■臨時駐車場 (混雑時に開放)	▶▶▶ 3. ヘリポート
■物資集積・配布スペース ■炊き出し所・救護テント設置箇所	◎		◎	■多目的広場・ドッグラン	▶▶▶ 4. 広場
■停電・断水時に利用可能なトイレ	◎			■24時間対応のトイレ	▶▶▶ 5. トイレ
■近隣防災拠点と連携			◎	-	▶▶▶ 6. 連絡路
■非常用電源 ■貯水タンク、防火水槽、燃料タンク (地下に建設)	◎		◎		▶▶▶ 7. その他

上記の整備内容のうち、「1. 多機能型休憩施設」「2. 駐車場」「3. ヘリポート」「4. 広場」について、災害時の機能を発揮するために必要となる面積を検討する。

※トイレは緊急時の防災トイレ（仮設・移動式）を考慮できるものとして、平常時を基準に規模を検討



## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### <参考1：近隣の施設（南レク松軒山公園）について>

- 防災休憩施設の近隣には南レク松軒山公園があり、当該公園は、都市計画マスタープランにおいて、広域防災拠点としての機能強化を図る方針であることから、防災休憩施設とのアクセス路を確保することで、災害時の連携が期待できる。

場所・分類	施設内容	規模	備考
公園入口	駐車場	約600m <sup>2</sup> (21台)	
	トイレ棟	約30m <sup>2</sup>	浄化槽あり
梅見本園	駐車場	約700m <sup>2</sup> (21台)	
	広場	約900m <sup>2</sup>	
	トイレ棟	約75m <sup>2</sup>	浄化槽あり
山頂	駐車場	約4,000m <sup>2</sup> (134台+身障者用4台)	トイレ・浄化槽あり
	芝生広場	約3,375m <sup>2</sup>	
	総合管理棟	約225m <sup>2</sup>	トイレ・浄化槽、 電話3回線・ADSL
	頂上展望所	約100m <sup>2</sup>	トイレ・浄化槽あり
備考	電気、水道あり ガス、倉庫、貯水タンク、防火水槽、無停電設備なし		

- 今後、防災休憩施設との連携を図る際には、南レク松軒山公園の防災機能の分担について、公園管理者との協議が必要となってくる。

## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### <参考2：近隣市町および愛南町内の防災拠点の役割>

施設名	場所	計画※	用途※	使用機関
石鎚山SA（上り線）	西条市	南トラ計画	広域進出拠点	国交省
来島海峡SA（下り線）	今治市		進出拠点	警察
宇和文化会館駐車場	西予市		進出拠点	消防
西予市宇和運動公園	西予市	県活動要領	進出拠点	自衛隊・警察・消防
道の駅みま	宇和島市		物資拠点	県
丸山公園	宇和島市		進出拠点	自衛隊・警察・消防
南レク城辺公園	愛南町	南トラ計画	航空機用救助活動拠点 （候補地）	航空機所有機関
		県活動要領	活動拠点	自衛隊・警察・消防
		町緊援隊 受援計画	集結場所・活動拠点	消防
あけぼの公園	愛南町	集結場所		

#### 【※計画・用途の内容について】

南トラ計画：南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画（中央防災会議幹事会）

県活動要領：愛媛県広域防災活動要領（愛媛県）

町緊援隊受援計画：愛南町消防本部緊急消防援助隊等受援計画（愛南町消防本部）

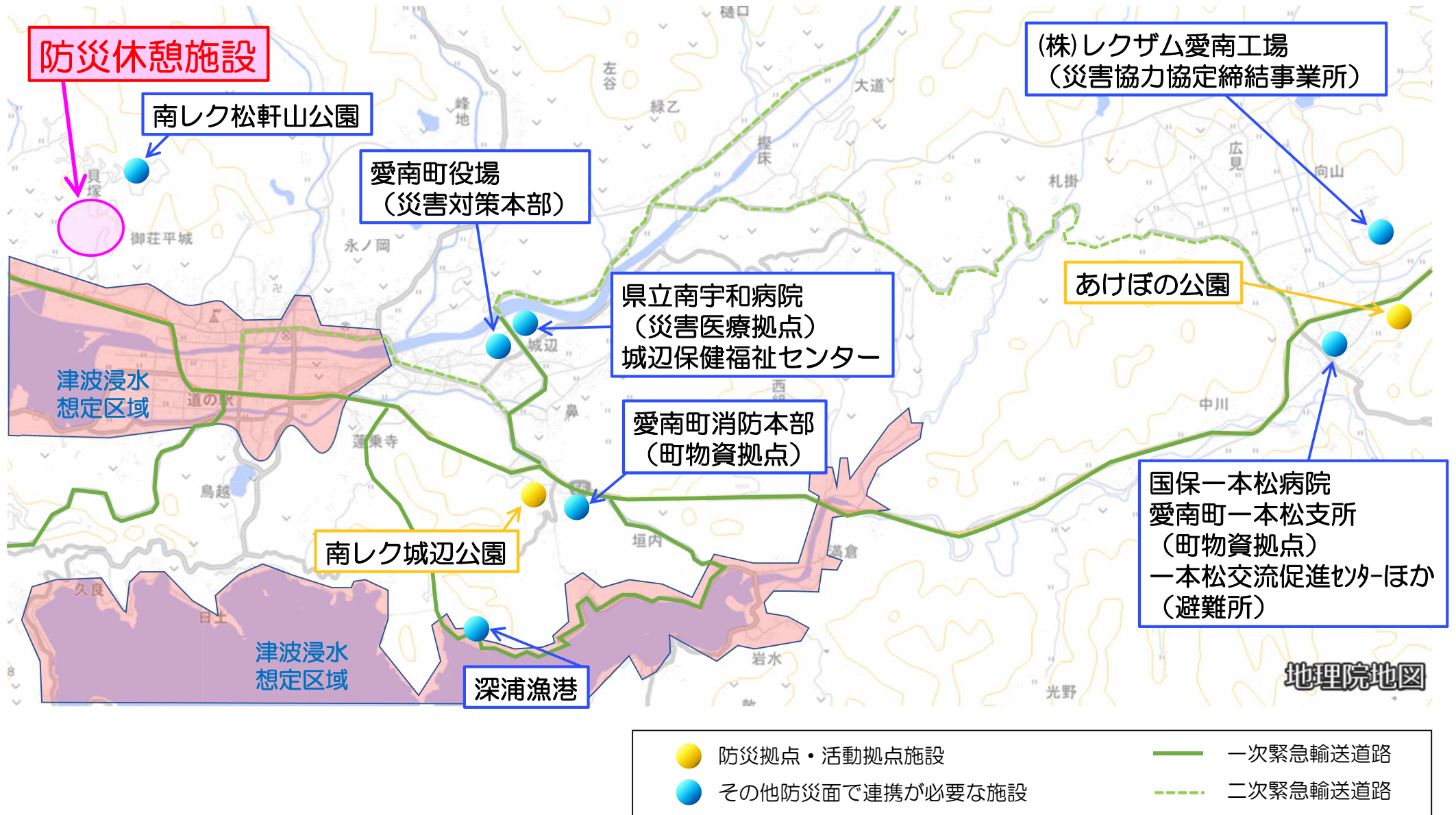
広域進出拠点：発災後、広域支援部隊が、被災地域に向かう一次的な進出目標

進出拠点：各部隊が受援都道府県に向かって移動する際の目標となる場所

活動拠点：各部隊が、被災地において部隊の指揮、宿営、資機材集積、燃料補給等を行う拠点

## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### <参考3：防災休憩施設と町内防災拠点等の分布>



## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### <参考4：防災休憩施設と町内防災拠点等のイメージ>



## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### <参考5：「道の駅」の登録要件等について>

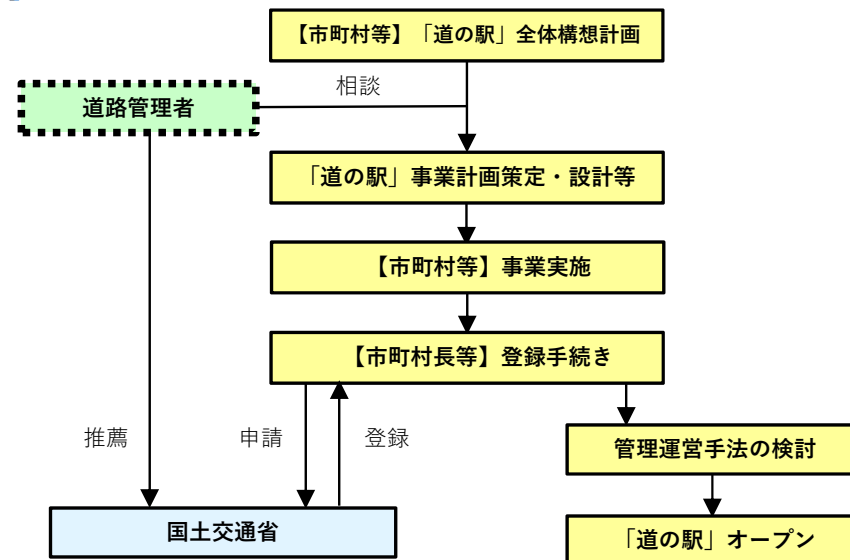
#### 「道の駅」登録要件

- 休憩機能
  - ・利用者が無料で24時間利用できる
  - 1.十分な容量を持った駐車場
  - 2.清潔なトイレ（原則、洋式）
  - 3.子育て応援施設（ベビーコーナー等）
- 情報発信機能
  - ・道路及び地域に関する情報を提供（道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等）
- 地域連携機能
  - ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設
- その他
  - ・施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化
- 設置者
  - ・市町村又は市町村に代わり得る公的な団体※
  - ※都道府県、地方公共団体が三分の一以上を出資する法人または市町村が推薦する公益法人

#### 整備主体と整備内容



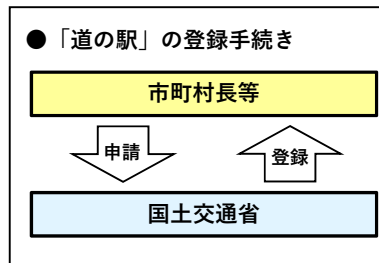
#### 「道の駅」整備フロー



※道路管理者の簡易パーキングの計画がある場合、道路管理者が整備する簡易パーキングと一体的に整備する場合がある。(一体型)

#### 「道の駅」の設置者、登録方法

- ・「道の駅」は、市町村又はそれに代わり得る公的な団体が設置
- ・登録は、市町村長からの登録申請により、国土交通省で登録
- ・整備の方法は、**道路管理者と市町村長等で整備する「一体型」**と**市町村で全て整備を行う「単独型」**の2種類



#### 「道の駅」の登録数

令和2年7月1日時点

「道の駅」総数 **1,180 駅**

- ・うち一体型：646 駅 (55%)
- ・うち単独型：534 駅 (45%)

## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### <参考6：「道の駅」の防災機能強化について〔防災道の駅〕>

#### 防災道の駅の認定要件について（案）

「道の駅」第3ステージ推進委員会  
第2回資料(R2.6.11)

1. 都道府県が策定する**広域的な防災計画（地域防災計画もしくは受援計画）**及び**新広域道路交通計画**（今年度、国交省と都道府県で策定予定）に広域的な防災拠点として位置づけられていること。
2. 災害時に求められる**機能**に応じて、以下に示す**施設、体制が整っていること**。
  - ① **建物の耐震化、無停電化、通信や水の確保等**により、災害時においても業務実施可能な施設となっていること
  - ② 災害時の支援活動に必要なスペースとして、**2500m<sup>2</sup>以上の駐車場**を備えていること
  - ③ **BCP（業務継続計画）**が策定されていること
3. 2. が整っていない場合については、**今後3年程度で必要な機能、施設、体制を整えるための具体的な計画**があること。

3

#### 「防災道の駅」のイメージ（案）

「道の駅」第3ステージ推進委員会  
第1回資料(R2.2.14)

##### 主な役割

##### 大規模災害時等の広域的な復旧・復興活動拠点



- ・ 自衛隊、警察、テックフォース等の救援活動の拠点
- ・ 緊急物資等の基地機能
- ・ 復旧、復興活動の拠点等

##### 地域の一時避難所



広域的な防災拠点機能を持つ道の駅

今回の「防災道の駅」のターゲット

地域の防災拠点機能を持つ道の駅

約500駅

※リニューアル等に合わせた対策により拡充

その他の道の駅

全体1,160駅

5

#### （参考）防災道の駅の機能・施設・体制（例）

「道の駅」第3ステージ推進委員会  
第2回資料(R2.6.11)

機能	施設								体制			
	①				②				③			
	耐震化	無停電設備	通信設備	貯水タンク	防災トイレ	防災倉庫	駐*1車場	ヘリポート	BCP策定	災害協定	防災訓練	感染症対策
救援物資の中継・分配機能	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	◎	○	○	○
広域支援部隊（警察、消防、自衛隊等）の一次集結・ベースキャンプ機能	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	◎	○	○	○
災害医療支援機能	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	◎	○	○	○
物資等の備蓄機能	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	◎	○	○	○

※1 災害時の支援活動に必要なスペースとして、2500m<sup>2</sup>以上の駐車場

6

## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### 2-2. 防災休憩施設の必要面積について

#### <1. 多機能型休憩施設>

- 多機能型休憩施設の平常時機能としては、道路情報・観光施設等の情報提供機能、物産販売所や多目的会議室等の機能を想定している。
- 平常時の必要面積については、想定計画交通量等から算定される必要面積（約1,200㎡以上、トイレ、附帯施設等を含む）を確保することで、休憩施設としての機能を満足することを確認。  
（参考）第1回愛南町防災休憩施設計画検討会検討資料
- 多機能型休憩施設の災害時機能としては、道路被災状況等の情報提供機能、災害時の現地対策本部や弱者支援等の機能を想定している。
- 災害時については、平常時の必要面積（約1,200㎡以上）が確保されていることで、災害時の機能を満足できるものとする。

#### <2. 駐車場>

- 将来の「防災道の駅」登録を見据え、その認定要件を満足する面積を確保する。
- 災害時の支援活動に必要なスペースとして、2,500㎡以上の駐車場を備えること。

（参考）社会資本整備審議会 第2回「道の駅」第3ステージ推進委員会 配付資料<抜粋>

## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### 2-2. 防災休憩施設の必要面積について

#### <3. ヘリポート>

- 災害時には一般避難車両、地元の災害対策・緊急車両、広域支援部隊の災害対応車両、救護関係車両等により駐車場の混雑が予想されることから、防災用ヘリポートは、駐車場（一般客用、従業員用）の面積に含めず、別途確保することが望ましい。
- 防災用ヘリポートの面積は約1,200㎡以上（愛媛県の消防防災ヘリ34m×34m）を想定。

#### <4. 広場>

- 防災休憩施設周辺の津波浸水区域から避難する津波一時避難場所として、最大避難者想定人数が一時的に避難する面積（夏場 約3,500人 × 1㎡/人 = 約3,500㎡以上）を確保する。



## 2. 基本構想（案）の取りまとめ

### 2-3. 愛南町防災休憩施設の基本構想（案）

- 整備箇所 御荘地区（松軒山公園付近）
- 面積 約11,000m<sup>2</sup>
- 施設
  - 多機能型休憩施設（約1,200m<sup>2</sup>以上 ※面積はトイレ、附帯施設等を含む）
  - 駐車場（約2,500m<sup>2</sup>以上）
  - ヘリポート（約1,200m<sup>2</sup>以上）
  - 広場（約3,500m<sup>2</sup>以上）
  - トイレ（屋外）
  - 連絡路
- その他
  - 四国横断自動車道（宿毛～内海）からアクセス可能な箇所へ整備
  - 災害時の進出・活動拠点としての活用、防災道の駅への登録を見据える
  - 南レク松軒山公園との連携に重点を置き、アクセス路は園路を活用

### 2-4. 今後の検討課題

- 防災休憩施設の平常時機能（地域交流施設等）に関する詳細な施設内容
  - ・ 既存の道の駅「みしょうM I C」との調整
  - ・ 道の駅の指定に向けた調整⇒ 一体型道の駅の検討を含む【P13参照】
  
- 南レク松軒山公園の防災拠点としての機能強化【P9参照】

（参考）愛南都市計画区域マスタープラン[H30.3県決定]より

【第7章 災害に強いまちづくりのための都市計画の決定方針】

7-3 防災のための都市施設の都市計画の決定方針（抜粋）

（2）防災拠点・避難場所等の整備

災害時の防災活動拠点、避難場所、臨時ヘリポートとして、都市計画公園・緑地の整備や公共施設の機能強化を図る。なお、第7号（松軒山地区）の南予レクリエーション都市公園は、広域防災拠点として機能強化を図る。

四国横断自動車道（宿毛～内海）の延伸と連携し、防災機能と地域交流機能を併せ持った施設の整備を検討する。

### 3. 今後の予定について

